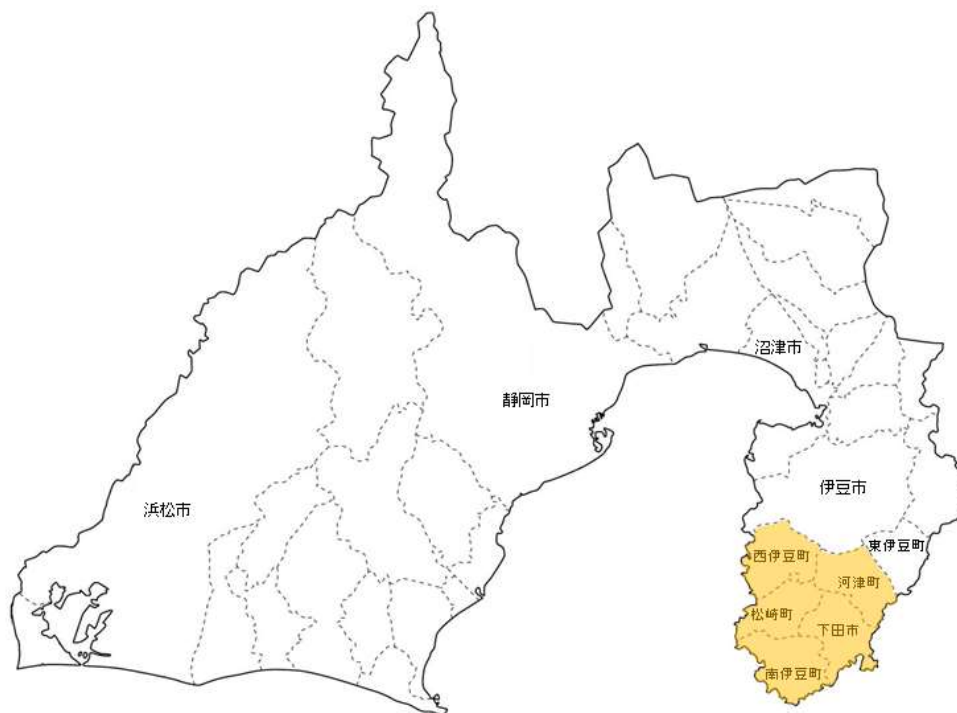


下田地区消防組合の概要

1 位置及び地勢

本組合は、静岡県東部の伊豆半島南部に位置し、下田市、河津町、南伊豆町、西伊豆町及び松崎町の1市4町により一部事務組合を組織し、消防事務の共同処理を行っています。

管轄区域は、全域が富士箱根伊豆国立公園に属し、文豪川端康成の代表作「伊豆の踊子」の舞台となった天城山系を背にして駿河湾、相模湾に面する風光明媚な海岸線を臨み、海山の豊かな自然と良質な温泉に恵まれた有数の観光地として、四季を通して多くの観光客が訪れています。



2 面積、人口及び世帯数

平成 27 年 4 月 1 日現在

市町	区分	面積	人口			世帯数
			男	女	計	
下田市		104.70 Km ²	11,282	12,162	23,444 人	11,273 世帯
河津町		100.79	3,706	3,982	7,688	3,312
南伊豆町		110.59	4,218	4,623	8,841	3,961
西伊豆町		105.52	4,156	4,639	8,795	3,949
松崎町		85.24	3,436	3,807	7,243	3,042
合計		506.84	26,798	29,213	56,011	25,537

3 消防組合関係者名簿

(1) 執行機関等

平成 27 年 4 月 1 日現在

職 名		氏 名
管 理 者 (下田市長)		楠山俊介
副 管 理 者 (西伊豆町長)		藤井武彦
会計管理者(下田市会計管理者)		高橋尚志
監 査 委 員	知識経験を有する者	土屋徳幸
	組合議員	加畑毅

(2) 組合議員

平成 27 年 4 月 1 日現在

議 長	下田市議会選出	森 温 繁
副 議 長	西伊豆町議会選出	山 本 榮
議 員	下田市議会選出	竹内清二
議 員	下田市議会選出	大川敏雄
議 員	河津町議会選出	遠藤嘉規
議 員	河津町議会選出	宮崎啓次
議 員	南伊豆町議会選出	加畑毅
議 員	南伊豆町議会選出	宮田和彦
議 員	西伊豆町議会選出	高橋敬治
議 員	松崎町議会選出	土屋清武
議 員	松崎町議会選出	関 唯 彦

4 消防組合の沿革

-
- 昭和 41 年 6 月 1 日 ・ 消防組織法第10条の規定により、下田町に常備消防の政令指定を受ける。
- 42 年 4 月 1 日 ・ 下田町600-1番地に下田町消防本部下田町消防署を設立
消防ポンプ自動車2台、職員18人で業務開始
- 46 年 1 月 1 日 ・ 市制施行にともない下田市消防本部下田市消防署となる。
所在地名 下田市東本郷1丁目5-21に変更
- 4 月 1 日 ・ 救急業務開始
- 49 年 5 月 9 日 ・ 伊豆半島沖地震 隣接の南伊豆町で死者・行方不明者計27人
- 51 年 7 月 11 日 ・ 集中豪雨による災害発生 死者5人（内消防団員殉職1人）
- 53 年 1 月 14 日 ・ 伊豆大島近海地震発生 死者11人 重傷者28人
（建物被害：全壊72棟 一部損壊879棟）
-
- 57 年 4 月 1 日 ・ 1市2町（下田市、南伊豆町、河津町）により下田地区消防組合を
設立
・ 組合設立に伴い30人を新規採用、定数を66人とする。
- 58 年 4 月 1 日 ・ 南伊豆分署、河津分署業務開始
- 9 月 19 日 ・ 日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
（南伊豆分署に更新配備）
- 61 年 11 月 21 日 ・ 伊豆大島三原山噴火 島民280人が下田市に避難
- 63 年 2 月 4 日 ・ 社団法人日本自動車工業会より、救急自動車の寄贈を受ける。
（下田消防署に更新配備）
- 平成 2 年 3 月 29 日 ・ 社団法人日本自動車工業会より、救急自動車の寄贈を受ける。
（河津分署に更新配備）
- 3 年 9 月 10 日 ・ 伊豆南部に集中豪雨 死者4人 負傷者7人
（建物被害：全壊17棟 半壊11棟 橋の流失2橋）
- 4 年 4 月 1 日 ・ 条例定数76人となる。
- 11 月 24 日 ・ 財団法人日本消防協会より、救急自動車の寄贈を受ける。
- 5 年 3 月 2 日 ・ 賀茂郡南伊豆町加納595番地の3に南伊豆分署新庁舎移転
- 6 年 4 月 15 日 ・ 下田市六丁目1番14号に下田消防本部及び下田消防署新庁舎移転
- 8 年 1 月 25 日 ・ 30m級梯子付消防ポンプ自動車購入
（下田消防署に新規配備）
- 10 年 2 月 3 日 ・ 高規格救急自動車購入
（下田消防署に更新配備）
- 4 月 1 日 ・ 消防署三交代制施行

- 12年 12月 21日 ・ 社団法人日本損害保険協会より、救助工作車の寄贈を受ける。
（下田消防署に新規配備）
- 14年 2月 22日 ・ 高規格救急自動車購入
（下田消防署に更新配備）
- 16年 3月 ・ 静岡県東部ドクターヘリ運航
4月 1日 ・ 機構改革により総務課及び予防課を設置し、消防署に当直司令
を置き、部制とする。
- 17年 4月 1日 ・ 静岡県消防防災航空隊へ職員1人派遣
10月 17日 ・ 携帯電話からの119直接受信開始
- 19年 8月 30日 ・ 本部へ事務用車両（1,500cc）配備
12月 19日 ・ 南伊豆分署へ高規格救急車を更新配備
12月 3日 ・ 下田消防署へ高規格救急車を更新配備
- 22年 3月 29日 ・ 下田消防署へ指揮車を新規配備
3月 31日 ・ 通信指令設備の更新により、新たに発信地表示システム及び車両動態
管理システムの導入及び署所間ネットワーク化
7月 9日 ・ 駿東伊豆地区消防救急広域化研究協議会（8市8町）へ加入
- 23年 1月 26日 ・ 本部指令車更新配備
1月 26日 ・ 南伊豆分署指令車更新配備
2月 28日 ・ J Aから寄贈を受けた高規格救急車を河津分署へ更新配備
3月 11日 ・ 東北地方太平洋沖地震発生
3月 23日 ・ 東日本大震災に対し、緊急消防援助隊第5次～7次静岡県隊として
救急隊及び後方支援隊各1隊延べ15人を福島県へ派遣
12月 1日 ・ 河津分署指令車更新配備
- 24年 2月 27日 ・ 下田署水槽付消防ポンプ自動車更新配備
3月 26日 ・ 駿東伊豆地区消防救急広域化協議会（5市7町）へ加入
3月 30日 ・ 下田署資機材搬送車配備
6月 7日 ・ 駿東伊豆地区消防救急広域化協議会において、下田地区1市2町及び
西伊豆地区2町による先行広域化協議が承認される。
6月 29日 ・ 下田・西伊豆地区消防救急広域化協議会設立
11月 26日 ・ 県知事から消防広域化に伴う改正規約の許可を受ける。（自行第401号）
- 25年 2月 20日 ・ 下田消防署へ高規格救急車を更新配備
4月 1日 ・ 消防組合に西伊豆町及び松崎町が加入し構成団体が1市4町となる。
（消防広域化の実現）
- 26年 2月 13日 ・ 西伊豆消防署へ高規格救急車を更新配備
- 27年 2月 19日 ・ 通信指令室統合
23日 ・ 河津分署消防ポンプ自動車更新配備
27日 ・ 本部予防査察車更新配備
3月 30日 ・ 消防救急デジタル無線運用開始

5 歴代管理者

順 位	氏 名	就 任 期 間
初 代	青 木 義 男	昭和57年4月 1日～昭和59年7月4日
2 代	池 谷 淳	昭和59年7月 5日～平成12年7月4日
3 代	石 井 直 樹	平成12年7月 5日～平成24年7月4日
4 代	楠 山 俊 介	平成24年7月 5日～

6 歴代副管理者

町 別	氏 名	就 任 期 間
河 津 町	板 垣 賢 一 郎	昭和57年4月 1日～昭和61年4月25日
南伊豆町	鈴 木 善 長	昭和57年4月 1日～昭和58年2月22日
南伊豆町	菊 池 利 郎	昭和58年2月23日～平成11年2月22日
河 津 町	櫻 井 泰 次	昭和61年4月26日～平成19年3月31日
南伊豆町	岩 田 篤	平成11年2月23日～平成17年4月15日
南伊豆町	鈴 木 史 鶴 哉	平成17年5月15日～平成19年3月31日
西伊豆町	藤 井 武 彦	平成25年4月 1日～

平成 19 年4月1日から平成 25 年3月 31 日まで副管理者の職は廃止

7 歴代消防長

順 位	氏 名	就 任 期 間
初 代	速 水 實	昭和57年4月 1日～平成元年3月31日
2 代	土 屋 嘉 文	平成元年4月 1日～平成4年3月31日
3 代	土 屋 文 男	平成 4年4月 1日～平成 7年3月31日
4 代	加 藤 洋 之	平成 7年4月 1日～平成 9年3月31日
5 代	富 井 佑	平成 9年4月 1日～平成11年3月31日
6 代	村 山 勝 利	平成11年4月 1日～平成13年3月31日
7 代	楠 山 多 聞	平成13年4月 1日～平成16年3月31日
8 代	和 泉 誠	平成16年4月 1日～平成21年3月31日
9 代	渡 辺 浩 一 郎	平成21年4月 1日～